



東京湾再生官民連携フォーラム 平成 27 年度 第 3 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 27 年 10 月 15 日(木)10:00～12:00
2. 開催場所 スタндарт会議室 虎ノ門 SQUARE
所在地: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-10 名和ビル 4 F

3. 議事

《審議事項》

- (1) 平成27年度フォーラム総会議事次第(案)について
- (2) 生き物生息場づくりPT政策提案について
- (3) 企業・行政等施設見学会について
- (4) 企画運営委員会委員の選任及び企画運営委員長の選出について

《報告事項》

1. 各PT平成 27 年度活動報告

4. 出席者

來生委員長、佐々木委員、岡田委員、工藤委員、笛木委員、井下委員、鈴木委員、田久保委員、竹口委員、田中代理、石井代理、小谷野委員、渡邊代理、端谷代理、山田代理、米村代理、小澤代理、川村代理、岡本代理、林委員、須藤委員、安藤代理、細川(事務局)、

5. 議事メモ

5-1 開会

出席、資料の確認(事務局)

(1) 開会挨拶(議長)

・フォーラム総会直前の企画運営委員会となります。総会運営に関するもの、総会に諮る政策提案の審議に関するものなどもありますので早速議事に入ります。

5-2 議事

《審議事項》

(1) 平成27年度フォーラム総会議事次第(案)について

【決定事項】

平成 27 年度フォーラム総会議事次第(案)は、提案の通り承認された。

【審議経過】

・総会のポイントとしては新しい PT(指標活用 PT)の設立報告、生き物生息場づくり PTからの政策提案、役員(議長、監事)の改選。

(2) 生き物生息場づくりPT政策提案について

【決定事項】



「生き物生息場づくりPT政策提案」は、今後の取り扱いの仕方* を含めて、PT からの提案通り承認された。

- * [提案書に関する更なる追加修正意見は、2015 年 10 月 19 日昼まで事務局に提出する事。
これを受けて最後の文章取りまとめは、佐々木PT長に一任する。佐々木PT長の最終文章をもって総会で審議する。]

(佐々木PT長説明)

- ・資料2-1、資料2-2、参考1-1、参考1-2に基づき説明。関係者には、提案書(資料2-1)に対する意見照会をし、提出意見に対する対応をPTとして検討し、それを資料2-1-2整理した。提案書(資料2-1)は付加修正等を実施済みのもの。
- ・提案書は、基本的な考え方と今後の進め方の骨子と個別の具体的提案(マコガレイの底質改善)で構成している。なぜマコガレイなのかが解るように補足説明を参考1-1として追加している。(この資料は、現在、今後も一部加筆修正中)
- ・長期的スパンで見た説明を参考1-2に取りまとめている。

【審議経過】

- ・提案書に関しては特に異論はない。発表時の要望として、10月24日の総会には、釣り船の方、釣りの方にも来ていただきたいので、来ていただけるようなキャッチコピーがあると訴求出来る。
 - ・キャッチコピーは、総会当日まで事務局でも検討、さらには、メンバーの中でジャーナリスト的な専門の方にも検討してもらいたい。
 - ・政策提案後のPTの継続についてはどのようにお考えか。
- 今回、具体的な提案は1件である。さらに具体的な提案を検討したいので、今後PTは継続する。PTメンバーの意志確認をしている。その際には、新規メンバーも募集する予定である。

(3)企業・行政等施設見学会について

【決定事項】

「企業・行政等施設見学会」については、提案の方向で実施することが承認された。

(事務局説明)

見学施設の候補について、自治体からの紹介に感謝。今後施設の役割や地理的な特性もふまえて、バスツアーのようなツアーデザインを図っていく。パブリックアクセスPTなどからのアドバイスを受けながら進めていく。実施予定日は、フォーラム総会后～12月を予定。

(4)企画運営委員会委員の選任及び企画運営委員長を選出について

【決定事項】

企画運営委員会委員の新たな選任が承認された。

企画運営委員長の選出は、來生 新 委員が再任された。

(事務局説明)



- ・企画運営委員会委員の選任については、資料5に記載した委員が新しい企画運営委員となる。ただし、調整中の委員1名については、本人の意向を踏まえ再確認を行う。
- ・新委員長の選出は、今後の速やかな運営を図るためにも本企画運営委員会で選出させていただきたい。

【審議経過】

- ・事務局からの説明を受け、企画運営委員長は、來生 新氏が再任された。
- ・企画運営委員会委員に関して、「水産庁関係者が不在とならないように」との指摘があった。大切な部局なので今後、水産庁への相談などを來生企画運営委員長と事務局と検討する。

《報告事項》

(1)各PT平成 27 年度活動報告

◆東京湾大感謝祭PT活動

【報告】田久保感謝祭実行委員長

10月24日、25日の大感謝祭開催にあたり、開催プログラムや会場レイアウトなど資料に基づき説明。

- ・出展者は昨年より拡大し、当日のプログラムの確定、当日のスタッフの手配、ステージプログラムの確定などほぼ出来上がっている。
- ・会場案内パンフレットは、当日配布予定。
- ・正午港内一斉汽笛の実施、豪華客船の船内見学、水素自動車の展示、平戸市とのコラボ、落語の開催などが組まれている。
- ・予算資金的には、2016年の感謝祭には官側の資金をさらに積み上げるようにご協力をお願いしたい。
- ・10月24日夕方にナビオス横浜で感謝祭参加者による官民交流会を実施予定。みなさんの参加協力をお願いする。

◆東京湾環境モニタリングの推進PT活動

【報告】(事務局から代理報告)

- ・資料4-2に基づき具体的に実施した調査を説明。
- ・昨年と同様に東京湾環境マップにまとめていく。

◆生きもの生息場PT活動

【報告】(佐々木PT長)

- ・資料4-3に基づき説明。政策提案の準備作業およびPTの今後の活動についての説明。
- ・今後、今回のマコガレイに関する提案を踏まえ、プロジェクトが具体的になった際には協力する。
- ・PT活動は継続し、メンバーの継続の再確認と新規メンバーの募集も実施予定。



◆東京湾パブリックアクセス方策検討PT活動

【報告】(竹口 PT 長)

- ・資料4-4に基づき説明。特に、東京湾に関心を持って頂くための方法、そのために東京湾に誘うための情報の具体化をテーマに取り組んでいる。さらに中間報告のとりまとめのためにメンバーの意見の集約など作業を実施している。今後、フォーラム、他のPTとの有機的なつながりをどのように図るのか調整検討する。

◆東京湾での海水浴復活方策検討PT活動

【報告】(田中代理)

- ・資料4-5に基づき説明。
- ・お台場海浜公園、葛西海浜公園「海水浴社会実験」の実施に伴う結果と課題について紹介。
- ・海水浴の復活の可能性のあるところを探るため「東京湾の海に面する公園」の調査を行い取りまとめた。この報告結果から重要事項(今後のPTの進め方について1~5)を検討し、政策提案書の作成につなげていく。

◆指標活用PT活動

【報告】(岡田 PT 長)

- ・資料4-6に基づき説明。
- ・キックオフミーティングを9月8日に実施し、指標を活用するための議論を開始。
- ・扱う指標に関しての範囲を整理し、WGを立ち上げる予定。

(3)その他

参考資料—2により感謝祭の報道記事の一端が紹介された。